|  |
| --- |
| （様式１）**「令和５年度除去土壌等の減容等技術実証事業」に関する提案書**提出日　　令和　　年　　月　　　日　　申請者　　（様式１－１） |
| 実証テーマ名 |  |
| 対象事業分野名 |  |
| （フリガナ）実施代表者の氏名 |  |
|  |  |
| E-mail |  |
| 実施代表者の所属機関 | 機関・部局職位 |  |
| 所在地 | 〒 |
| TEL： | FAX： |
| 略歴 | 最終学歴 | 年　　月　　　　　大学　　　　　学部　　　　　学科卒業 |
| 年　　月　　　　　大学大学院博士　　　　　（研究科）　　　　　　　　　課程修了／見込　　　　　（専攻） |
| 職歴・研究歴 |  |
| 主な実施場所 | 技術実証フィールドの利用意向（有、無）［１つに○］ |
| 上記が「有」の場合、中間貯蔵施設区域内の土壌等の利用意向※（有、無）［１つに○］ |
| *・技術実証フィールド、区域内の土壌等の利用意向がある場合は、その必要性、実証ヤードの必要面積、土壌等の量・放射能濃度を記載すること* |
| 使用予定の主要な施設・装置 | 所属機関の施設・装置 |  |
| その他の施設・装置 |  |

*※試料として中間貯蔵施設区域内の土壌等を利用することを希望する場合は、事前に相談すること*

|  |
| --- |
| （様式１－２） |
| 実証テーマ名 |  |
| 対象事業分野名 |  |
| 作業現場における課題（300字以内） | *・作業現場において、現実にどこで、どのような課題が、どの程度存在するか、又は今後想定されるかを具体的な事例等をあげて明記すること* |
| 提案技術の概要（300字以内） | *・上記の課題を克服するために、どのような技術を提案するのかを簡潔に記載すること。また、期待される具体的な効果をできる限り定量的に記載すること* |
| 実施内容 | *・実施内容は、審査基準の記載事項に従い以下の項目の順で簡潔・明瞭に記載のこと**・様式１－２は、Ａ４用紙３ページ以内とすること**①実施内容と成果目標（複数年度（原則として2年以内）で行う事業は、年度ごとに実施内容を記載すること）**②実証試験の進め方（放射性廃棄物が生じる場合には実施後のその処理の方法を含む）**③新規性（既存技術との違いを明記すること）**④実用性（除染・減容化等がなされる原理、試験データを明記すること。また、提案技術の適用範囲、既存技術との費用対効果等を可能な限り明記すること）**⑤実施体制* |
| 実施スケジュール*・各項目のスケジュールを線引きすること**・複数年度で行う事業は初年度の計画を記載すること* | 主要な実施項目 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| （様式１－３） |
| 実証テーマ名 |  |
| 対象事業分野名 |  |
| 必要予算額（税込）※ |  | 千円 | うち直接経費の額 |  | 千円 | うち間接経費の額 |  | 千円 |
| 課題を遂行するのに必要な予算額（直接経費）の積算内訳（単位：千円） |
| 人件費 | 機械装置費 | 消耗品費 |
| 事項 | 金額 | 品名・仕様 | 金額 | 品名・仕様 | 金額 |
|  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  |
| 外注費 | 報告書作成費 | 旅費・その他 |
| 品名・仕様 | 金額 | 事項 | 金額 | 事項 | 金額 |
|  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  |
| その他の特記事項 | *・科学研究費助成事業（いわゆる「科研費」）の助成有無については、必ず記載のこと* |

*※複数年度で行う事業は、初年度の必要予算額を記載すること*